

2016年4月12日

一般社団法人  
日本美容歯科医療協会  
メルマガ

<http://jcd.jp/>

昨日は、季節が戻ったほど冷えでしたね。体調は大丈夫でしょうか。

今回のトピックは、「歯科助手さんによるブラッシング」の法的な取扱いです。あと、引き続き DVD やセミナーのご紹介です。

jcd

#### 【歯科助手さんによるブラッシングって違法？】

都市伝説も含めて、いろいろと議論されてきた話題かと思います。実情は別といたしまして、歯科助手さんって、歯科診療の中にどのくらい介入することができるのでしょうか？

厳密に法を適用すれば、「受付」と「洗い物」「患者さんの誘導」くらいしかできないようになってしまいますが、さすがに厚生労働省も現実をかんがみ、「医行為に見えそうでも、条件次第では医行為とみなさないもの」という通知を出しています。

通知自体は「医師法第 17 条、歯科医師法第 17 条及び保健師助産師看護師法第 31 条の解釈について」ですので、リンクを貼っておきます。

<http://square.umin.ac.jp/jtta/government/mhlw/iryokoui.html>

この中に、「重度の歯周病等がない場合の日常的な口腔内の刷掃・清拭において、歯ブラシや綿棒又は巻き綿子などを用いて、歯、口腔粘膜、舌に付着している汚れを取り除き、清潔にすること」は、医行為とみなさないという旨が記載されています。

まあ確かに、既成事実として、施設なんかの介護職員・アルバイトなんかは口腔清掃していますし、保育所なんかでも幼児の口腔清掃していますよね。

ここで注意したいのは、「ブラッシング指導」としてしまうと、これは歯科衛生士さんの業務となることです。「指導」ではなく「単なる清掃」という位置づけであること。なんだか言葉のアヤってぼいところもありますが、あえて公文書にするとこんな感じになるのかなと思います。





詳細は、下記リンクよりご覧くださいませ。

<http://www.dentaln.jp/client/boshu/detail/246/90/>

jcd

サイトカインセラピーの入門書—確かにそうだった 10 年前—

#### 【臍帯療法の書籍プレゼント】

あたらしいバイオマテリアルとして「臍帯（Uコード）」があります。

1月27日の読売新聞医療サイト「Yomi Dr」で、東京大学が臍帯療法の製薬化に向けて動き出している記事が掲載されています。

臍帯はプラセンタよりも歯科的に有利な点として

- ・抗組織形成の足場となるヒアルロン酸の含有量が多い。
- ・コラーゲンの原料となるグリシンなどのアミノ酸の含有量が多い。
- ・繊維芽細胞成長因子の含有量が多い

などの特徴があります。

臍帯に関しては、わかりやすいテキストが少ないのですが、このたび、実際に臍帯療法をされておられる先生が著した「臍帯力」の書籍をプレゼントする企画をいたしました。

初回分はなくなってしまいましたが、(社)日本臍帯・胎盤研究会様のご協賛により若干プレゼント用を追加いたしました。

フェイスブック（口腔統合医療研究会グループページ）にアップしてありますフォームにご記入の上、ファックスしていただくと、臍帯療法に関する書籍をプレゼントいたします。右クリックで「画像を印刷する」で出てきます（\*^\_\*）。

フェイスブックをされておられない先生方は、メールで弊協会に「臍帯力書籍希望」とタイトルしていただき、クリニック名・ファックス番号をお知らせくださいませ。お申し込み用の用紙をファックスさせていただきますので、ご記入の上ご返送くださいませ。

臍帯血療法と違い、血液型を選ばないのと、価格的に手の届きやすい設定に（臍帯血は、ネット等をご覧いただくとわかるのですが、数十万～数百万の治療費がかかります）することが可能です。大体1回3～5万円の治療費で設定されている場合が多いようです。

臍帯って何？

どんな治療法なの？

